

ヒトがんにおける ACLY 蛋白発現の研究

1. 研究の対象

1999年1月～2020年3月に当院で治療を受けた方

2. 研究目的・方法

ACLY(ATPクエン酸リアーゼ)は脂肪酸代謝に関与するタンパクで複数のヒトがんが発現が亢進し、活性化(リン酸化)しています。このタンパクは阻害剤が開発されていますが、そのターゲットとなるがん腫を特定するため、多種のヒト試料にあたって、どのようながんや組織で ACLY の発現亢進がみられ、活性化しているか、免疫染色を中心として検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究対象者背景(性別、年齢、等)、病理検査結果、臨床経過を情報として収集します。試料は、手術、生検時に採取されたホルマリン固定、パラフィン包埋標本を主として用い、必要に応じて凍結検体を使用します。

4. 試料・情報の公開

研究の結果は学会発表および論文発表を通じて行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究責任者：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

埼玉県立がんセンター 病理診断科

電話 048-722-111 (PHS 5202)

神田浩明

-----以上